

阿波市八幡小学校 「学力向上実行プラン」

研究テーマ

- ①基礎・基本の知識・技能を身につけさせるための指導の充実。
- ②考える力・書く力・話す力を育てるための指導の工夫。
- ③主体的・対話的協働的に学び、思考力・表現力・実践力を育てるための授業改善。

学力向上検討委員会構成

--	--

校長

北村 敬司 印

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
<p>よさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや、計算力はある程度定着してきている。 ・ほとんどの児童が、家庭学習の時間が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の発言をしっかりと聞くことができる児童。 ・授業の中で、自分の考えをわかりやすく他者に伝えることができる児童。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全部の学級で始業のチャイムと共に授業が始まる。 ・定期的な確認テストの平均正答率が上がる。 ・授業がよく分かると思える児童が増加する。 	<p>学びタイムにおいて、児童が主体的に学び向かう姿勢を身につけ、作業能率をあげていくためにできることを考える。時間を決めて成果が児童に分かるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡スタンダードを徹底して指導し、授業開始時間を厳守し、一人学習や考えをまとめて伝える時間を十分に確保できるように指導した。 ・授業の流れをパターン化し、視覚的に示すことで、児童が見通しを持って取り組めるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを話したり書いたりすることができた児童が85%以上に増えた。 ・授業がよく分かり、楽しいと答えた児童が90%以上いた。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力に課題があり、読解力に個人差が大きい。 	<p>具体的方策(教員の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律・学習習慣(八幡スタンダード)を徹底した授業実践を行う。 ・一人学習時における個別指導の徹底を図る。 ・学びタイム、家庭学習で既習の反復を図るとともに、作業集中力を高める。 	<p>取組指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びタイムの時間を充実させる。(主体的な参加、単位時間の課題量増加、作業能力の向上) ・全教員が1回以上研究授業を実施し、互いに学び合う中で授業力向上を図る。 		<p>評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<p>次年度における改善事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業能率や児童の理解度をあげるために、個に応じた指導の工夫や手立てを向上させる。 ・今後もさらに、授業改善に全教職員で取り組んでいく。 ・始業時刻だけでなく、終業の時刻を守ることで児童の集中力を高める。

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
<p>よさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由や根拠を述べて発言できる児童が多くなってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かして、課題に関して自分の考えが持てる児童。 ・学んだことを他教科や生活の中で活用しようとする児童。 ・授業の中で、自分の考えをまとめ筋道を立てて他者に伝えることができる児童。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考えて行う授業は楽しいと答える児童が90%。 ・友達に自分の考えを伝えることができていると答える児童が80%。 	<p>日常の算数や国語の授業で、自分の考えを理由をつけて書いたり、条件に合わせて要旨をまとめて書いたりして、問題になれていくようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や、図を使って、自分の考えを説明できるように授業の中で取り組んだ。 ・ペア学習や、グループ学習を充実させた。 ・話す力を伸ばすために、新聞記事を使った問題や活用問題を、学びタイムに行い、自分で学習する力を伸ばした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを理由や筋道を立てて発表できると答えた児童が約70%に増えた。 ・聞く力が伸びてきた。 ・教員や児童のアイデアを生かして授業ができています。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞くことや、自分の考えや文章から読み取ったことを書くことについて課題がある。 ・既習事項を生活に活用しようとする児童が少ない。 	<p>具体的方策(教員の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で自分で考える時間、友達と考える時間、全体で話し合う時間を十分に確保する。 ・授業での自分の考えや気づき・疑問などをわかりやすくノートにまとめさせる。 ・ICT機器やホワイトボードを効果的に活用する。 	<p>取組指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事を使った問題や活用問題に週1回以上取り組む。 ・月1回メンター研修を行い、指導力向上を図る。 		<p>評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<p>次年度における改善事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別のホワイトボードを有効に活用できるように工夫する。 ・友達を書いた作文に触れる機会を多くとるようにする。 ・自分の考えを、理由をつけ筋道を立てて発表する場を確保し、内容も充実させるような授業作りをしていく。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
<p>よさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣は定着しつつある。 ・与えられた課題には真面目に取り組む。 ・進んで読書をする児童が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のめあてに対してのまとめや振り返りを自分で考えてノートに書ける児童。 ・協働的に授業に参加してよりよい考えを求めようとする児童。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業改善が進められたと回答する教員が100%。 ・自分の考えをノートや発言の中で表現できる児童が80%。 	<p>朝の読書タイムで読書に向かう習慣が身につくように有効に活用する。自主学習に目あてをもつて取り組み、内容の見直しや各学年に応じた時間の確保をさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会を充実させるために、主体的な話し合いができるようにした。 ・委員会活動で児童主体の読書スタンプラリーを行った。 ・朝の読書の時間を増やした。 ・自主学習の仕方や内容についてオリエンテーションを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の授業改善が進められたと回答した教員が100%。 ・家庭学習の進め方や内容の質が上がっていると感じる教員が100%。 ・学校での読書量や図書室の利用率が増加している。 ・自分の考えを主体的に伝えようとする児童が増加した。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で読書をする時間が少ない。 ・自ら課題を見つけ、解決しようとする意欲はまだ低い。 ・めあてをもつて自主学習に取り組む児童が少ない。 	<p>具体的方策(教員の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての設定からまとめ、振り返りまでの児童主体の学習過程を確立する。 ・家庭学習の進め方オリエンテーションを実施する。 ・学校や家庭での読書時間を確保する。 	<p>取組指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員間授業公開週間を実施し、お互いの授業から学び合う。 ・家庭学習時間の増加と自主学習の質が向上した児童が70%以上。 		<p>評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<p>次年度における改善事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読書習慣を身につけるために、ノーゲームデーを作ったり、やわたっ子の生活チェックを活用したりしてゲームの時間の見直しをする。 ・自分の考えを表現することの苦手な児童への有効な支援方法を工夫する。

平成31年度 学力向上ロードマップ

